

# みしま 市議会だより

No.187

2020 2.1

今回の  
定例会

11月

2月

6月

9月

主に11月定例会の  
情報をお伝えます。



## CONTENTS

11月定例会 議案審議の概要	2
市政に対する一般質問	4
先進地に学ぶ 視察報告	10
議会報告会を開催しました	12



K. Sugiyama

〈議第 92 号〉 その他、歳出の主な内容

- 職員構成の変動等による人件費 △ 5,718 万 8,000 円
- ふるさと納税推進事業 1,582 万 1,000 円
- 自立支援給付等事業 9,541 万 5,000 円
- 児童福祉施設整備費補助金 2,480 万 6,000 円

〈議第 102 号〉 災害復旧事業の主な内容

- 林道維持管理事業 1,250 万円
- 公共土木施設災害復旧事業 1 億 5,540 万円

係、映像関係、そして体育館の外で行うアトラクションなどを委託する。

また、このイベントのPRも兼ねて、パラリンピック競技種目であるポッチャの出前講座を、市内小中学校で実施する計画である。



Pick up  
一般会計予算を  
増額補正

災害復旧に向けて早急に対応

○災害復旧事業

2億4806万1千円

10月に発生した台風19号による被害の復旧にかかる経費を追加します。林道の路肩修繕や土砂撤去、農道修繕などを行います。

主な質疑

**質疑** 対象となる路線・河川・地域は

**答弁** 土木課では、修繕料で三島総合病院付近にある市道谷田168号線ほか2路線と夏梅木川ほか1河川を、工事請負費で市道山田20号線ほか2路線と山田川ほか1カ所の災害復旧工事を行う。

農政課では、元山中地区や台崎地区の農地や農道佐野3号線と農免農道市山・佐野線を、河川からの農業用水頭首工については、大場川の萩用水頭首部等の工事を予定している。林道については、箱根の里へ向かう林道北箱根山線や林道三ツ谷線などの工事となる。農業用施設については、農道谷田10号線や農道三ツ谷観音・洞中線など4路線の復旧等も実施する。

○高齢者バス等利用助成事業 600万円

年度内に70歳以上になる方にバス等利用助成券を交付する本事業

○公用自動車管理事業 23万5千円

公用車の事故防止や、事故の際の原因究明のためのドライブレコーダーの購入にかかる経費を追加します。

主な質疑

**質疑** 整備率と今後の整備予定は

**答弁** 管財課が集中管理する公用車へのドライブレコーダー整備状況は、共用バスおよび副市長車を含めた集中管理公用車38台中23台に整備されており、約60%の整備率となっている。今回の補正予算で14台の車両にドライブレコーダーを整備することにより、今後リース車両の導入を予定する副市長車を除き、全ての車両に設置が完了する。

◇意見書を提出しました

「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める意見書と、主要農作物の種子生産に関わる県条例の制定を求める意見書を可決し、関係機関へ提出しました。

令和元年  
11月定例会  
11月26日～12月10日  
会期:15日間

■今回の議案は…

市長提出議案12件  
議会提出議案 2件  
陳情 1件

この号では次の項目を Pick up!

Pick up

〈議第 92 号〉  
【令和元年度三島市一般会計補正予算(第6号)】(全会一致)  
■補正予算額 6億3,311万7,000円

〈議第 102 号〉  
【令和元年度三島市一般会計補正予算(第7号)】(全会一致)  
■補正予算額 2億4,806万1,000円

- ・意見書の提出
- ・陳情の付託
- ・人事案件

詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。

三島市議会 検索

について、交付方法の変更や利用者が当初想定を上回ったことに伴い、経費を追加します。

主な質疑

**質疑** 高齢者外出支援のための本事業の内容および利用者増の理由は

**答弁** 本事業は高齢者施策の一環として、1乗車につき100円の助成券を1人当たり年間30枚交付することです。外出支援をするもの。伊豆箱根鉄道駿豆線でも利用できる、さら



◆陳情の委員会付託

日清プラザ・イトーヨーカドー三島店舗内期日前投票所開設に関する陳情が提出されました。11月定例会最終日に総務委員会に付託され、閉会中に審査を行いました。

人事案件に同意

- 【三島市監査委員】 今井 信義氏
- 【三島市教育委員会委員】 安藤 宏通氏
- 【三島市外4組合公平委員会委員】 稲田 精治氏

議員研修会

新潟県立大学准教授の田口一博氏を講師に迎え、「議会改革の流れと議会・議員の果たすべき役割」をテーマに、議員研修会を開催しました。



議会の活動

- 10月
- 1・2日 経済建設委員会行政視察
  - 2日 議会だより編集委員会
  - 10日 東部地区市議会議長会
  - 11日 議会報告会運営会議
  - 28・29日 議会運営委員会行政視察
  - 31日 各派代表者会議
- 11月
- 1日 議会だより編集委員会
  - 5日 静岡県市議会議長会定期総会
  - 7日 議会報告会運営会議
  - 13日 議会報告会(北上文化プラザ)
- 15日 議会報告会(中郷文化プラザ・市民活動センター・生涯学習センター)
- 16日 議会報告会(大社町別館・錦田公民館)
- 19日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会、議会だより編集委員会
- 20日 東部地区6市4町議会議長連絡会
- 26日～12月10日 11月定例会
- 26日 各派代表者会議、本会議(議案審議)
- 29日 議会報告会運営会議
- 12月
- 3・4・5・6・9日 本会議(一般質問)
  - 3日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会
  - 10日 本会議(議案審議)
  - 12日 議会だより編集委員会
  - 13日 年末の交通安全県民運動一斉街頭広報
  - 17日 議員研修会、議会報告会運営会議

○障がい者施策推進事業 300万円

東京パラリンピック大会の機運醸成や障がいを持つ方への理解促進、障がいを持つ方自身の健康増進のためのイベントにかかる経費を増額します。

主な質疑

**質疑** イベントの委託事業の内容は

**答弁** 大会開催の約200日前にあたる令和2年2月15日(土)に、市民体育館を会場とし、パラリンピック競技全般の紹介と、各種体験を複合したイベントを開催していく。

会場装飾、舞台や音響、展示開

に75歳以上の方はタクシー乗車でも2枚使用が可能。今年度からは、さらに使用促進を目的に、対象者全員に郵送することとしたため、今まで申請をためらっていた方や助成制度を知らなかった方も利用するようになったと考える。

このような状況から、昨年度と比べ、利用者数および利用件数が増加し、より多くの方の外出支援につながったものと考えます。



中村 仁 (緑水会)

市民の生命・安心・財産を守る排水ポンプ車
台風19号の際、中部地方整備局から借りたポンプ車が市民のために活躍した。不安な豪雨災害に備え、三島市で購入できないか。

浸水被害を防ぐためには、迅速な排水活動を行う必要がある。排水ポンプ車による排水作業は、非常に有効な浸水対策手段であることから、市民の生命・財産を守るため、令和2年度の当初予算において排水ポンプ車の購入に向け、検討していく。



小山三軒家線中心に都市計画道路の再検証

昭和36年から計画され未着工の小山三軒家線の整備は、100億円以上必要とのことである。計画の再検証が必要ではないか。

三島市を含む6市4町の東駿河湾広域都市圏でまとめられたパースントリップ調査の結果を踏まえ、総合計画や都市計画マスタープランなどの来年度の見直しに合わせて、第2回目の都市計画道路の必要性再検証を実施するべく、準備をしている。

岡田 美喜子 (新未来21)

持続可能な自治体経営のための人材確保

観光振興やITなどの施策を目的に、専門的な人材を兼業や副業で採用し、行政課題の解決や職員の意識改革につなげてはどうか。

すでに、IT関連やSDGsなどの研修会を民間団体の協力を得ながら、知識の習得等を目的に実施している。専門的な人材の採用は、雇用条件等を含め活用すべきフィールドや明確な目的などを整備し、他市町から効果等の情報を交換しながら慎重に検討していきたい。

通学区域の変更

来年度、錦田中学校と北中学校の通学区域が変更されるが、どのような場合に通学区域が変更されるのか伺う。

学区変更は「①学校適正規模に十分留意、②地区住民9割以上の賛同署名添付、③周辺自治会に説明確認をした」これらを満たした上で、学校は地域コミュニティの核である」との方針に照らしもなお、変更がふさわしいかを通学区域審議会でご審議いただく。



宮下 知朗 (新未来21)

避難所停電対策として可搬型蓄電池の整備を

屋内使用や暴風雨時などに使用が制限される、可搬型エンジン式発電機の代替として、可搬型蓄電池の整備を進めてはどうか。

可搬型エンジン式発電機は、屋内で使用できない上、暴風雨時には屋外で使用することは難しい。避難者の方が携帯電話やスマートフォンの充電等に使用できるよう、令和2年度以降、可搬型蓄電池の整備に要する費用の予算計上を検討していく。

避難所運営ゲーム(HUG)の積極的な活用を

避難所の運営に対する理解と共助の精神を醸成するため、小中学校における防災教育などで避難所運営ゲームを活用してはどうか。

すでに北上中学校と中郷西中学校では実施しており、引き続きPTAや地域の皆さま等と連携し、避難所運営ゲームをはじめとした防災出前講座をさらに積極的に活用する等、防災教育の一層の充実が図られるよう、各学校に指導していく。



他の質問事項
保育需要に応えることのできるまじゅくりを

石井 真人 (新政会)

医療保健福祉の一体的拠点を整備できないか

東街区に健康医療拠点を作らず、メディカルセンターを移設し、保健センターと社会福祉会館も施設内に移動させて一体化してはどうか。

健康と福祉の公共施設を一元化する拠点施設については、関係するそれぞれの団体の意向を伺ってみるとともに、他市町の事例等の調査や、それぞれの施設機能の有効性、立地条件、財政的問題等を勘案し可能性について今後研究していく。



職員退職基金1億7千万円を取り崩した理由

前市政において、8年間で積み立てた1億7千万円の基金を、豊岡市政の9年間で205万円まで取り崩した理由を伺う。

基金は、多くの団塊の世代が退職し多額の退職金が必要となる際の支出を平準化するために積み立てたものであり、その目的に沿って平成18年度から29年度にかけて取り崩したものである。今後の退職金については、当該年度の予算で支出することが可能である。

他の質問事項

東街区の医療機能について医師会との調整は

藤江 康儀 (改革みしま)

歳入・雇用拡大が期待される企業誘致

現在の補助金では、企業に対してインセンティブを与えない。三ツ谷工業団地最後の第4区画へ誘致するため、今後の課題を伺う。

大規模用地を購入する場合、現在の補助限度額では、用地取得費に対する相対的な補助率が低くなり、かつ市民の新規雇用の後押しとならない。三島市の企業誘致の優位性を確保するために、税収が期待できる要件に基づく、上乗せ等の制度改正を検討する。



本市の防災・減災の取り組み

水害など有事の際、市・警察・消防団の情報共有および指示・指導・命令等が慎重かつ正確である必要があるが、見解を伺う。

台風19号に係る課題を踏まえ、改めて消防団と市・警察当局が情報を共有し、水害時の河川監視や道路冠水の際の通行止め等に関する役割分担を明確にするともに、団員の身の安全を最優先にして活動にあたるよう、団長から指示・指導を行っている。

他の質問事項
清掃センター施設整備等について

河野 月江 (日本共産党議員団)

危険木から住民の安全を守る施策の充実を

台風等による倒木の危険を除去するため、他市町に倣い、町内会等による危険木除去を支援する制度が必要と考えるが、見解を伺う。

樹木の管理責任は所有者にあるが、樹木除去の費用負担が困難で危険な状態のまま放置されている樹木の存在も事実である。危険木除去の支援制度については、市の補助金ガイドラインに基づき、公益性・公平性等を含め他市町の事例等を参考に調査・研究していく。



市民が望む三島市の将来像と第4次総合計画

スマートウエルネスみしまの健康づくり事業について、検証がどうなされ、再計画づくりに市民がどう関わっているのか伺う。

外出する機会の創出や、自然と歩く仕組みに力を入れ、各期に掲げているコアプロジェクトを検証し、新たな発想も取り入れながら検討を行った。市民の皆さまの直接の参画はなかったが、民間団体の委員を含む健康づくり推進協議会にてご意見をいただいた。

他の質問事項

公立小中学校給食での除去食対応の実施を

## 沈 久美（新政会）

### 小中学校給食の残食率は改善しているか

◎ 食育都市・三島が誇る週5回の完全米飯給食は平成22年度から実施され、栄養価は高く評価するが、残食はどうか。その推移を伺う。

◎ 総残食率は小学校で平成17年度は4%で、完全米飯給食を始めた22年度には1.9%と減少し、30年度は1.39%だった。中学校では17年度は13.3%で30年度は7.59%と減少した。残食への対応は無理な指導はせず、個々の児童生徒に合わせた給食指導をしている。



### 給食の砂糖の使用量は基準を超えていないか

◎ 砂糖の過剰摂取は虫歯や肥満などの原因となる。献立表からは使いすぎの感が否めない。砂糖摂取の基準値に対する充足率を問う。

◎ 砂糖の摂取量と目安となる基準量への充足率は小学校が3.41gで114%、中学校は5.84gで146%となっている。1日25g程度としているWHOの指針からも標準的な範囲と考えるが、砂糖が入ったデザートを果物に替えるなど過剰摂取とまらないよう努めている。

### 他の質問事項

より伝統的に近い中学向け新献立の可能性は

## 村田 耕一（公明）

### 大場川上岩崎公園下のプラスチックごみ回収

◎ 大場川で上岩崎公園付近の滝下に、上流から流れてきたプラスチックごみがたまる所があるが、その回収を市で対応できないか。

◎ 日頃、近所の方や環境美化活動団体のご厚意により、ごみを回収していただき感謝している。大場川については、河川管理者である静岡県に相談している。また、市が管理する河川でパトロール等により発見した廃棄物については、市で回収処分を行っている。

### 停電予防の対策

◎ 停電の多発エリアで電線にかかりそうな樹木情報を集約し、台風シーズン前の5月頃に対策打ち合わせ会を実施できないか。

◎ 停電の主な原因について電力会社に確認したところ、強風で飛ばされた飛来物や樹木等の電線への接触であるとのことであった。自治会単位などで樹木等の電線への接触情報を集約していただければ、対策打ち合わせを実施せずとも、市から電力会社へ情報提供を行う。



## 服部 正平（日本共産党議員団）

### 市民の健康を向上させる取り組み

◎ 健康交流拠点「みしま健幸塾」の利用が大幅に減少している。健幸塾を通じて市民の健康意識・動向はどのように変化しているか。

◎ 利用者数は、体組成計測定者、マイレージ利用者、タニタ健康くらぶの新規入会や更新など、9月末時点で延べ6275人となっている。タニタ健康くらぶへの加入総数も2千人を超え、みしま健幸塾の存在は、意識の醸成に寄与しているものと考えている。



### 新制度「会計年度任用職員」の契約

◎ 新制度の目的は処遇改善とされている。当市における非正規職員の雇用契約は、均等待遇を前提に不安なく交わされるか。

◎ 原則として、1会計年度内が任用期間であり、給料は正規職員と同じ給料表に当てはめながら、さらに一定の条件のもと、期末手当や通勤手当等を支給していく。任用は公募が原則であるため、書類審査や面接等を行い、公平な雇用機会を設ける予定である。

### 他の質問事項

ふるさとガイドの待機所を楽寿園駅前へ

## 大石 一太郎（新政会）

### 商店街・個店の活性化に向けた商業戦略とは

◎ 大通りの空洞化が懸念される中央町NTT局舎跡地と、銀行支店跡地への誘致や活用について、商店街などと意見交換ができないか。

◎ 大通りを中心とするエリアに公共施設を建設する構想はないが、土地所有者には1階部分への商業施設の配置などにぎわい創出に配慮をお願いしており、可能な範囲でも関わっていく。土地所有者の意向を尊重したいため、地域との意見交換会は予定していない。



### 成年後見制度の利用促進と市民後見人の養成

◎ 利用者は対象者の2%と少ない。権利保護のためにも制度内容や市成年後見支援センターの役割等、市民説明を徹底し周知できないか。

◎ 成年後見制度は認知症高齢者等で判断能力の十分な方を支える制度であり、令和元年10月1日に三島市成年後見支援センターを社会福祉会館内に開設した。同センターでは、常設の相談窓口のほか専門職による定期相談があり、親族後見人等の支援も行っていく。

### 他の質問事項

発達支援に向けた保育・療育体制の構築を

## 杉澤 正人（新政会）

### 青少年相談室の相談業務

◎ 生涯学習センター内での相談以外に、公民館など市内の公共施設でも相談・面接が行えるのではないかと考えるが、見解を伺う。

◎ 今まで面接に至らなかった案件を支援につなげ、児童生徒のみでなく青年等のさまざまな問題についても関係機関と連携し、指導を組織的につなげていくことが可能となるため、方策として北上公民館、中郷公民館での実施を調整する。



### 会計年度任用職員制度と学校支援員・ALT

◎ 新たな任用制度により、学校支援員やALTが実質的な雇い止めにならないよう、どのような配慮がなされるのか伺う。

◎ 全ての会計年度任用職員は、原則、1会計年度内での任用だが、再任用を妨げるものではない。人事評価等による客観的根拠をもとに、本人の意向も尊重しつつ経験や実績を十分考慮した上で、人材確保の点からも慎重に再任用の可否を決定していく。

### 他の質問事項

罹災証明の発行業務について

## 川原 章寛（新未来21）

### 地域包括ケアシステムの構築に向けて

◎ 誰もが住み慣れた地域で自立して、自分らしく暮らし続けることが出来るよう、生活支援サービスを拡充すべきと考えるがどうか。

◎ 住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、自助・互助・共助・公助がそれぞれの役割に基づき連携することが大切である。特に地域の担い手やボランティアが主体となっていく訪問型サービスについては、今後充実が必要であり、市としても支援していく。



### 徒歩圏内における居場所の全市的な展開による生きがいづくりを推進するため、助成制度の拡充を図るべきと考えるがどうか。

◎ 助成制度を利用し、利用期間が終了した自治会、町内会にアンケート調査を実施したが、活動費用の不足を理由に事業を終了したところはなかった。しかしながら、より良い助成制度となるよう同様の助成を行っている社会福祉協議会と協議していきたい。

## 土屋 利絵（改革みしま）

### 三島駅南口東街区再開発

再開発した場合と、しなかった場合の損益分岐点について伺う。

三島市の負担額が56億円、土地の買い戻し額が24億円、土地開発公社からの寄付金が10億円、駐車場収入が現状で1億円、新規では7千万円、開発による税収効果が2億円という条件で試算をすると、開発をした場合、19年後に開発をしない場合の収支額を逆転する。

再開発を成功させていくために、街中のエリアデザインを市民の方々と共に作り上げていくことが必要と考えるが、市の見解を伺う。

事業完了までには時間があることから、まずは商工会議所、観光協会、周辺商店街などと具体的なエリアマネジメントのあり方を検討することが重要と考える。事業区域のみならず、より広範囲の価値の維持向上に資する運営手法、体制等の構築に努める。



## 堀江 和雄（公明）

### ひきこもり支援と実態調査

ひきこもり状態の定義およびその現状に対して、どのような認識で対応しているのか。

ひきこもりは、原則的に6カ月以上にわたって家庭にとどまり続けている状態を指す現象である。市に直接相談があり、生活が困窮している場合や、障がいなどで生活支援や福祉的就労の場が必要な場合には、市の福祉部門が連携して支援を行っている。

### 補助金事業の見える化と行政評価

三島市単独で行う事業補助金の件数や金額など現状の実績・検証を踏まえて、次年度予算へどのように反映しているのか。

次年度予算への反映については、財政経営部長ヒアリングを例年実施しているほか、令和2年度当初予算編成からは、新たに策定した三島市補助金ガイドラインに沿った事業の採点評価により、補助金の継続・見直し・廃止の判定を実施する。



### 他の質問事項

三島市の将来に向けた都市格

## 甲斐 幸博（緑水会）

### 三島市の財政を安定させる対策

当市の財政は、少子高齢化がさらに進み、大変厳しい時代を迎える。財政を安定させるために、どのような対策が必要か。

企業誘致による雇用確保、歴史文化やせせらぎを活用した観光産業の活性化、三島駅南口再開発を含むにぎわいの創出等による市税の増収が必要と考える。また、ガーデンシティ・スマートウエルネスなど三島らしさの推進により、移住定住人口の増加が重要である。

### 三島市水道事業の課題

老朽管の更新状況や、これまでに行った主要施設の耐震化など、実績について伺う。

老朽管の更新は、過去に漏水事故の発生した管路や、管の腐食により、さびによって赤水の発生する管路を優先的に行っている。施設の耐震化は、伊豆島田浄水場の外2カ所を更新し、2019年度は、3カ年をかけて富士見台の高区配水場の更新工事を実施している。



### 他の質問事項

観光客1千万人を目指す取り組み

## 佐藤 寛文（フォーラム三島）

### 交通権の確立に向けて

全ての市民の皆さんの移動を保障する交通権の確立に向けて、公共交通網空白地を今後どのように改善していくのか伺う。

今後の公共交通サービスの確保に向けては、地域と一緒に利用促進に向けた機運を醸成していくことが重要であると考える。地域との協働体制を整え、交通事業者、有識者にも意見を伺う中で、必要な検証をしながら取り組んでいきたい。

### 台風19号に対する取り組み

県道三島静浦港線の冠水は松毛川の増水が原因であることに対し、浚渫を含め今後どのように取り組んでいくのか対策を伺う。

県営土地改良事業による松毛川の浚渫土を利用した修景護岸等の整備は、事業の目的が治水対策でないため、松毛川上流域の約690mの区間に限られる。下流域の約570mの区間は、今後別事業での実施を検討し、松毛川の増水による災害被害の防止につなげる。



## 佐野 淳祥（改革みしま）

### 待機児童解消には、保育士確保が先決

待機児童の発生理由に保育士不足があるが、国の保育士宿舎借り上げ支援事業を導入し、保育士確保につなげられないか伺う。

待機児童の解消は喫緊の課題であると認識している。待機児童が生じる大きな要因の一つに保育士不足が考えられることから、他市町の当該事業の効果を検証するとともに、市内保育関係者の意見や希望も伺いながら、早期の導入について前向きに検討していく。



### 児童の命を交通事故から守る「キッズゾーン」

通園中・散歩中の園児が巻き込まれる事故が多発し、厚労省が「キッズゾーン」の推進を提案。当市では、どのように進めるのか。

令和元年11月12日付けで、内閣府と厚生労働省の連名の通知により制度推進の依頼があったところである。今後、設定する手法や設定後における道路管理者や警察署との協議の場などについて検討し、キッズゾーンの設定を進めていきたいと考えている。

### 他の質問事項

「中からねずみ」の延伸実証実験への心配

## 古長谷 稔（新政会）

### 過去最大雨量の台風19号を踏まえた防災対策の見直し

新洪水ハザードマップで複数の避難所体育館の浸水可能性が示されたことを踏まえ、校舎の2階以上部分への垂直避難の可否を問う。

新しく作成したハザードマップにおける浸水想定区域の避難所において、校舎の2階以上の垂直避難も想定される。学校職員が不在の状況でも対応できるように、災害時の学校における鍵の解錠について、学校、教育委員会と協議していく。

三島市地域防災計画と三島市水防計画との関係性を踏まえ、地区防災計画にタイムラインをどう盛り込むか、今後の取り組みを問う。

タイムラインと地区防災計画は同じ目的の事前防災であり、地区防災計画の作成を通じて総合的に地域防災力が向上する。地震だけでなく、地区の特性に応じ、風水害のタイムラインを地区防災計画に盛り込むことができよう、有効な手段、方法を考えていく。



### 他の質問事項

狩野川堤防が低く薄い箇所の護岸強化

議会運営委員会 10/28 ~ 29

兵庫県高砂市に学ぶ！

「議選監査委員廃止の経緯」

平成 30 年 3 月 28 日に「議会及び行財政改革等対策検討特別委員会」を設置し、平成 30 年 6 月に特別委員会協議した上で本会議へ報告を行い、6 月 18 日、市議会本会議で監査委員条例改正案を可決、議選監査委員を廃止した。

高砂市は、決算委員会で 12 日間にわたりチェック・議論をするなど、監視機能の充実強化を図ってきた実績の上で議選監査委員の廃止に至っており、三島市ではまず当面の課題として、チェック体制の充実強化への早期取り組みが必要だと感じた。



京都府亀岡市に学ぶ！

「議会改革、議会活性化の取り組み」

亀岡市では議会改革として多様な取り組みがされているが、主に議会基本条例の見直しについて伺った。

平成 22 年の施行後、2 年ごとに検証を行っており、独自の検討シートを各会派に配付して条項ごとにどのような問題があるかを記載してもらい、それについて議会運営委員会で検討、検証している。

反問権の導入や政策研究会の追加など、数々の議会改革と議会活性化には刺激を受け、三島市議会においても同様の取り組みが求められると感じた。

経済建設委員会 10/1 ~ 2

空き家対策

—岐阜県羽島市—

平成 25 年、通学路に隣接する空き家の倒壊が発生したことを受け、市役所内の関連部局が集結してプロジェクトチームを設置した。効率的に正確な実態を把握するため、自治会への情報依頼に加えて(株)ゼンリンによる全戸調査を行った。わが家の終活セミナーの開催やエンディングノートを独自に作成して活用するなど、複数の取り組みは本市においても参考にしたい。



大垣駅南街区第一種市街地再開発事業

—岐阜県大垣市—

再開発はにぎわいの創出、まちなか居住の推進、空き店舗の減少を目標として推進され、駐輪場や駅前公園の整備、子育て施設の導入などを行っている。特に公共施設である「キッズピアおおがき」は駅前に隣接しており、市民だけでなく市外からの利用者も多くにぎわいを見せていた。

市民ニーズを的確にとらえている点は大いに三島駅南口再開発にも参考となるものであると感じました。



日本遺産を活用した観光振興

—岐阜県岐阜市—

「信長公のおもてなし」を掲げ、観光資源の岐阜城や長良川などを中心に日本遺産事業に取り組んでいる。年度ごとにたてる目標には、確実にステップアップしていく計画性の高さがあった。まちなか案内人など多彩な事業展開を進めており、何度も訪れてみたいと思わせる工夫を重ねている点が素晴らしいと感じた。



# 先進地に学ぶ

より良い三島市を目指して、先進的な取り組みを行っている他自治体へ視察研修を行いました。詳細は市議会ホームページをご覧ください。



福祉教育委員会 7/8 ~ 10

認定こども園の取り組み

—奈良県生駒市—

待機児童の解消に向けた保育所の整備や、私立保育園で保育ニーズに応じたサービスが提供されるよう事業者へ働きかけるなど、さまざまな支援を行っている。認定こども園の整備については、預かり保育の時間延長や、クックチル方式による給食を実施している。



三島市においても、保育需要の増加と幼稚園需要の低下は現実化している。スクールバスや給食、保育士の確保など、多くの課題に取り組む生駒市の姿勢を学ぶことができ、大いに参考になりました。

郷土学習の取り組み

—奈良県高市郡明日香村—

日本で唯一村全体が保存地区であり、明日香法によって伝統文化を守りながら村の発展を目指している。幼小中一貫した郷土学習プログラムにより、明日香を語る人材育成を掲げて取り組んでおり、年間計画や副読本のほか、地域の協力も大事な要素となっている。地域に根差した教育を行っていることは大変参考になった。

総合型地域スポーツクラブ

—愛知県半田市—

平成 6 年に文部省のモデル事業として成岩スポーツクラブを設立させ、平成 15 年には市内 5 つの全ての中学校区に存在するようになった。学校に隣接する施設は地域・学校・行政が連携して運営しており、部活動の受け皿としてだけでなく地域のコミュニティの拠点にもなっている。



総務委員会 7/29 ~ 31

新庁舎建設

—広島県三原市—

業務で使用する会議室を、セキュリティ区画の設定により市民が休日や夜間に利用できるようにするなど、コンパクトで機能的な庁舎である。延べ面積のコントロールを重視し、ランニングコストを抑える工夫を実施していた。

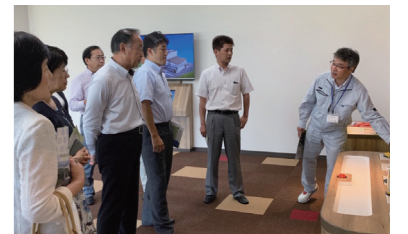
質の高い市民サービスを提供できる庁舎だと感じました。特にエレベーターの配置やすべての階に設置された多機能トイレなど、誰でも安心して利用できるユニバーサルデザインはとても参考になりました。



ごみ処理施設

—京都府木津川市—

施設の老朽化や人口増加によるごみ量の増加に伴い、平成 27 年に設計・工事に着手し、平成 30 年 8 月に竣工した。全連続燃焼ストーカ方式であり、燃焼炉から発生する排ガスの熱を利用して水を蒸気に変え発電している。施設内の電力はもちろん、余剰電力は売電をし、年間 4,000 万円の財政効果とは大変興味深い。



PFI 事業の見直し

—愛知県西尾市—

公共施設の再配置に向けた PFI 事業は、整備内容や発注などを含め長期間にわたり民間に一括して委ねていたため、市の内部でもごく一部の職員しか把握しておらず、市民や議会への説明不足や、資料・契約書の不開示など問題点が多かった。平成 29 年に新市長が就任し、検証と見直しを実施している。

## 「あいうえあそぼうとしょかんで」

令和元年度みしま市議会だより表紙のテーマは、「三島市ゆかりの絵本作家」です。

第 3 回目の今号は、スギヤマカナヨさんのイラストが表紙を飾っています。

スギヤマさんは本の出版だけでなく、各地で講演やワークショップを行うなど幅広くご活躍で、三島市内でも図書館や小学校、家庭文庫などでワークショップを行い、子どもたちに絵本の楽しさを伝えてくださっています。この機会に、皆さんもぜひ絵本の世界にふれてみませんか。市議会だよりも、より幅広い世代の方に親しまれるよう努力してまいります。



【スギヤマカナヨさん】

三島市生まれ。東京学芸大学初等科美術卒業。1993 年に渡米しエッチングを学ぶ。『ペンギンの本』（講談社）で講談社出版文化賞受賞。主な作品に「K・スギヤマ博士の動物図鑑」（絵本館）、「ほんちゃん」（偕成社）、「ぼくのまちをつくろう！」（理論社）、「あかちゃんがかまれたらなるなるなんになる？」（ポプラ社）、「あいうえあそぼうとしょかんで」（子どもの未来社）などがある。

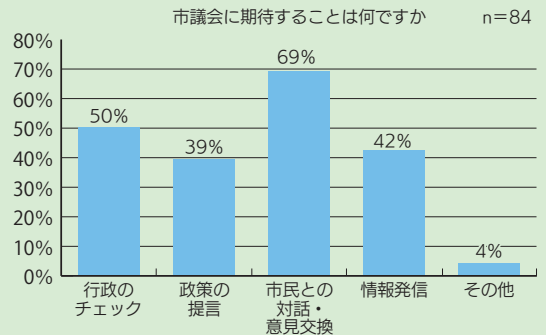
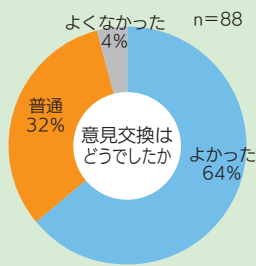
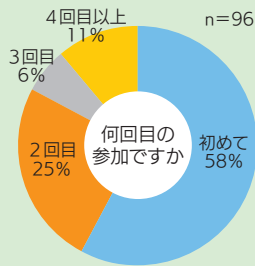
# 議会報告会を開催しました

～語ろう 三島の未来～ 11月13日・15日・16日

ご参加いただいた皆さま、  
ありがとうございました

3つのテーマ別に議会報告会を開催し、グループごとに意見交換を行いました。皆さまのご意見などは、今後の議会活動を通じて、三島市のまちづくりへとつなげていきたいと思ひます。

6会場で119人の方にご参加いただきました。  
アンケート結果と、いただいたご意見の一部を紹介いたします。



担当 ▶ 総務委員会

## みんなで考えよう！ 将来の公共施設

～庁舎、学校、市営住宅など 102 施設の再配置について～

- 市役所は、ワンストップで機能が集中していることが望ましい。
- 子どもからお年寄りまでみんなが使いやすい市役所庁舎に。
- 生徒が減少していく中で、学校をどう利用していくのか検討すべきでは。公民館など他の施設との統廃合も検討してはどうか。



担当 ▶ 福祉教育委員会

## 幼稚園・保育園の現状とこれから

- 保育士不足が深刻。賃金の引き上げや、シルバー世代の採用など、解消に向けて取り組めないか。
- 保育士の人材を呼び込むためにも、特色ある教育・保育の取り組みができないか。
- 小規模保育所の増設を図ってはどうか。



担当 ▶ 経済建設委員会

## 空き家対策 ～現状の対応と今後～

- グループホームや学生の賃貸、シェアハウスなどに活用してはどうか。
- 自治会と行政で空き家情報を共有してはどうか。また不動産業者と協力し、早期の売却ができないか。
- 空き家にしないことが重要。子どもに住んでもらうためにも家族で話し合いを。



### 令和元年台風19号に伴う 災害に対する義援金について

このたびの台風19号により亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。  
三島市議会では義援金を全国市議会議長会を通じて送金いたしました。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

### 2月定例会のお知らせ

2/ 18(火) 本会議(議案審議)  
27(木)・28(金) 本会議(代表質問)  
3/ 2(月)～6(金)・9(月) 常任委員会(予算審査)  
11(水)～13(金) 本会議(一般質問)  
16(月) 本会議(一般質問予備日)  
17(火) 本会議(議案審議)  
本会議は午後1時、常任委員会は午前10時の開会予定です。(日程は変更になる場合があります。)

議会だより編集委員会

委員長：村田 耕一 副委員長：甲斐 幸博 委員：沈 久美、宮下 知朗、佐野 淳祥、野村 諒子、河野 月江